楽人

谷岡学園広報誌
GAKUJIN
2013 01 January
Vol.49

世に役立つ人物の養成

01 理事長年頭挨拶

02 2013年「年頭のひとこと」
各校事務局長・事務長

03 谷岡一郎理事長 藍綬褒章受章
理事長に一問一答!

05 大商大高校　新コース紹介
職場クローズアップ!

07 各校の注目クラブPICK UP!
各校課外活動等の活躍報告

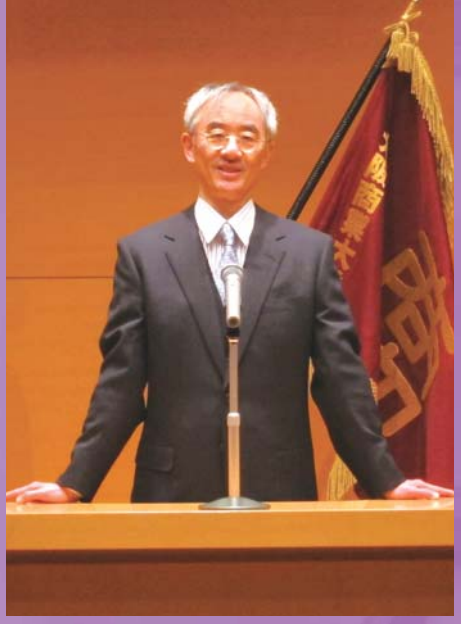
09 表彰・受賞等ニュース紹介
気になる!コノ人どんな人?

学校法人 谷岡学園
TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

理事長 年頭挨拶

学校法人谷岡学園 理事長
谷岡 一郎

平成25年の新春を向かえ、理事長年頭挨拶・賀詞交歓会が学園各キャンパスで行われました。東大阪キャンパスと神戸キャンパスでは1月5日（土）に、藤井寺キャンパスと堺キャンパスでは1月7日（月）に開催され、谷岡理事長による年頭挨拶が行われました。今号の楽人では東大阪キャンパスでの理事長の年頭挨拶を紹介します。



皆さま明けまして おめでとうございます。

皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、良いお正月を迎えられたことと思います。

さて、今年は巳の年です。私がこの学園に戻ってきましたのも、巳の年でございまして、その後の巳の年である2001年は、アメリカで旅客機による同時多発テロなどが起こった年です。今回の巳年は良い年になってくれるように心から念願しております。

昨年の暮れにテレビを観ておりましたら、日本の寿司職人がスペインの寿司職人にチャレンジするという番組をやっておりました。日本で修業したスペインの寿司職人は「もう日本の寿司は古い。我々の寿司のほうが上だ」と言っていました。刺身、寿司、巻物など色んな料理で対決をしまして、その結果、審判がスペイン人だということがあったにせよ、スペインの方がおいしいという判定が出たのです。日本は伝統の中から生み出した素晴らしいハーモニーの寿司を出しましたが、スペイン人の寿司職人は、片っ端からそれを破壊した料理を出しました。寿司飯にコーヒーを塗ったり、オリーブオイルやマスタードを使ったり、日本人が考えもしないアイディアで新たなハーモニーを見つけ出していました。恐らくおいしくはないとは思いますが、私はある面で感心いたしました。というのはやはり、こういう破壊の中から新しいものが生み出されてくるのだと思います。去年まで順調にいっていたから、今年も同じでいこうというのが、どうしても我々が陥りがちな、保守的な考え方です。そんな中で、新たな破壊が必要なのではないかということを、その番組を観ながら感じました。

皆さんもぜひ新たな破壊を繰り返し、その中でしっかりと地についた教育をお願いしたいと考えています。我々は少なくとも教育のプロです。教育といわず人を育て成長させるプロです。これは教員も職員もその他の方々も全てにおいてそうだと信じております。ですから我々自身が前進し、自分を高めようという意識を常に持ち、何らかの新しいチャレンジができないかと常にヒントを探していただきたい。皆さんにとってこの一年が、新たなチャレンジの年であるということをぜひお願いしたいと思っております。

さて、新聞を読んでおりましたら面白いことが書いてありましたので、一つ紹介させていただきます。ある企業が発展途上の地に靴の輸出を計画し、社員二人を派遣しました。一人は「全く見込みがありません。住民は誰も靴を履きません」と報告し、もう一人は「無限の見込みがあります。住民はまだ誰も靴を持っていません」と報告してきました。関西、特に中小企業が多い東大阪の小阪の地においては、新たなことにチャレンジし、新たな価値を見つけ出し、新たなものを展開するという底力があったはずです。場合によっては足のない蛇に無理やり足を生やして、とにかくそれくらいの心意気でぜひやっていただきたいと思います。

昨年、私は国から藍綬褒章を受け取ることができました。これは私の力ではなく、皆さんが支えてくれたこの10年、20年という年月を、私が単に代表していただいたものと考えています。皆さんがずっと教育に対して色々な面で邁進し努力し、そういった中で、幸い私がそのように評価されるだけの経歴を残せたのだと、本当に皆さんに心より感謝しております。

藍綬褒章を受けるにあたって、実は兵庫県の方に、他に対象者はいないのですかということをお聞きしたら、資格を満たす方が年々減っているんです、というコメントをいただきました。今の私学において、継続して一つの精神をずっと哲学を持って、スピリットを継承しようとする人がだんだん減っているんだなということを、身に染みて危機感として感じました。日本全体の危機感として、やはり私学というものは「こういう理由でこの学校や学園を創ったんだ。その中でこういう人を育てるんだ」という明確な意思があって、そのもとに皆が一丸となって家族のように進むのが、本当の私学だと私は思っています。

皆さんの今までの協力に感謝しつつ、これからもまたよろしくお願いしたいと心より思います。皆さんにとってこの一年が、素晴らしい年であることを祈念しております。

1月5日　東大阪キャンパスでの賀詞交歓会の様子

2013年 年頭のひとこと

各校事務局長・事務長の新年の抱負をご紹介します。

2013年となり、新しい一年が始まります。
教職員が一丸となって進むことのできる年となりますように。
今号は、谷岡学園各校の教育・研究活動をサポートする事務方のトップから、新年の抱負をいただきました。

「勝ちは運、負けは実力」

私は様々な場面でこの言葉を常に念頭に置き取り組んでいます。成果が出た時は自分の努力ではなく、周りの理解・協力に加え様々な状況がいい方向に向いたおかげだと思い、成果が出なかった時は、自分の進め方、工夫等が足りなかったので次にはさらに努力しようと心がけています。

学校法人谷岡学園
法人本部長　常岡 裕之

「動」

大学教育の質的転換が求められる中、本学も様々な動きがある年となるでしょう。行動する、変化する、感動する、活動する、推進する、対応する、スタートする等々、様々な「動」を実践する年といたしましょう。

大阪商業大学
事務局長　大城戸 靖彦

「自らの幸せを求めて」

「自らが幸せになるために頑張る。」と言えば、聞こえは良くないかも知れません。しかし、自らの幸せを紐解けば、自身を取り巻く家族や友人、そして職場の仲間や学生達の幸せが不可欠です。

大阪女子短期大学
事務局長　長谷川 孝好

「信頼と絆」

私たちは、生徒や保護者が、本校に入学したことを誇りに思えるよう、教育環境整備を継続的に進め、高い満足度と「信頼」を得られるように努めます。また、地域から支えられる学校から、地域を支える学校へと変革できるよう、地域との「絆」を高めてまいります。

大阪商業大学堺高等学校
事務長　片山 雅之

「篤之功」

（いっきのこう）

―仕事を完成させる直前の最後の努力のこと―

長い、長い間、話し合ってきたことが、いよいよ花開き、実を結ぶための準備、正念場の年になります。さらに高みに向かって力を合わせて頑張りましょう。

神戸芸術工科大学
事務局長　新井 芳則

「前進」

明日の運命は誰にも分からない。今日を大切にし、明日につながる生き方を心がけるべきであります。今、この時を粗末にしたり人生を諦めたりせず、如何なることがあっても、前向きに進みたいと思っております。

大阪商業大学高等学校
事務長　小西 憲二

「STAY HUNGRY, STAY FOOLISH.」

この言葉は、iPhoneで有名なアップル社の故S.ジョブズ氏の座右の銘です。スマートな会社イメージとかけ離れた泥臭いスピリッツから生まれた大きな成功。現状に満足せず、常に挑戦者たらんとする姿勢を我々も学びたいと思います。

大阪女子短期大学高等学校
事務長　久米 真人

谷岡一郎理事長藍綬褒章受章

おめでとうございます！

平成24年11月2日（金）、政府より平成24年秋の褒章受章者712人が発表され、本学園の谷岡一郎理事長が、藍綬褒章を受章されました。今号では、理事長の学園運営に対する想いや私たち教職員へのメッセージを取材し掲載します。

◆藍綬褒章とは

褒章は、勲章と同様に国の栄典であり、内閣の助言と承認に基づいて天皇陛下から授与されるもので、6種の褒章が設定されています。藍綬褒章は、教育・衛生・防疫の事業、学校・病院の建設、水産の繁殖、商工業などの発達等、公衆の利益を興した者又は公同の事務に尽力した者に授与されます。

◆受章の理由

谷岡理事長は、多年にわたり教育事業に携わり、教育施設の充実を図ってきたこと、子弟の育成に努め教育の振興に寄与してきたことが認められ、藍綬褒章を受章されました。具体的には次のとおりです。

学校法人の運営

学園役員・理事長として学校法人の経営基盤を確立してこられると同時に、大阪商業大学学長として大学を運営し、学部・学科の改組や大学院の開設など多くの改革を進めてこられました。また、建学の理念「世に役立つ人物の養成」を「思いやりと礼節」「基礎的実学」「柔軟な思考力」「楽しい生き方」という4つの柱に具現化し、学園の使命・目的をより明確に示されました。

高等教育の発展、私学振興に対する寄与

学長として大学運営、理事長として大学、高等学校、幼稚園を運営する傍ら、文部科学省、日本私立大学協会をはじめ、私立学校の関係諸団体から委員の委嘱を受け、私立学校の運営に関わる助言、意見提案を行っておられます。

〈社会活動一覧〉

- 日本私立大学協会　常務理事
- 日本私立大学団体連合会　国際交流委員会委員
- 日本私立学校振興・共済事業団共済運営委員会委員
- International Association of University Presidents（世界大学学長会議）理事
- アジア太平洋大学交流機構（UMAP）国内委員
- 大学コンソーシアム大阪　理事
- 財団法人大阪府私学総連合会　理事
- 財団法人学生サポートセンター　顧問
- 特定非営利活動法人依存学推進協議会　理事
- 東大阪市青少年健全育成小鳩基金協議会　会長
- 東大阪商工会議所　参与　etc.

教育者・研究者としての、学術・研究活動に関わる貢献及び社会貢献活動

法律学、経営学、社会学などを専門領域とし、その関連で研究を続けるギャンブル、カジノの専門家としても高い評価を受けています。また、アメリカで長年にわたって実施されている社会調査を日本に導入し、経年的に調査を実施。調査結果を広く社会に提供する環境を整備するため、JGSS研究センターを設立し、文部科学大臣から「日本版総合社会調査研究拠点」として認定を受けました。また、地元、東大阪市の地域活性化のため様々な活動を行い、青少年の育成にも活発的に参画し社会貢献を果たされています。

受章式の様子【秘書室随行記録】

平成24年11月13日（火）、晩秋も深まりゆく中、皇居近く竹橋にある如水会館にて、褒章受章者への伝達式が行われました。

午前10時過ぎ、会場に到着。理事長は、受章者控え室にて、他の受章者の方々と談笑されていました。その後、ロンドン五輪で国民に感動を与えたメダリストや芸能関係の方が順次到着されました。

午前11時、開式が宣言され、国歌斉唱に続き褒章授与を告げられると、会場の空気が一気に凛とした緊張感漂う空気に変化。受章者の名前と受章理由が述べられ、森口文部科学事務次官より受章者一人ひとりに章記・褒章が手渡されました。次官よりお祝いのご挨拶があり弦楽演奏が行われ、伝達式の閉式が宣誓されました。

午後1時30分、天皇陛下への拝謁のため皇居へと移動。

午後3時40分、皇居での拝謁を終えられ、他の受章者とともに文部科学省へお戻りになり、無事に伝達式が終了しました。

学園内での理事長の活動紹介

法人職員研修会での講演

平成24年8月24日（金）、法人職員研修会にて理事長に講演を行っていただきました。講演テーマは「リーダーの条件」。役員、委員を務められている私学団体や外部からの依頼で、日頃から様々な講演をされている理事長。今回は、職員の私たちにぜひ話を聞かせてください、という希望でご依頼しました。

講演では、私立大学のあり方から理事長が思うリーダーのあるべき姿、ご自身のこれまでの経験などをお話くださいました。講演中は笑いが何度も起き、和気あいあいとした雰囲気で、90分の講演時間はあっという間に過ぎました。実施後のアンケートでは、「理事長の話が聞けて本当に良かった」という意見が多数あり、とても貴重な機会となりました。

新任職員との食事会

理事長と新任職員との昼食会は勤務1～5年の専任職員を対象にした企画です。昼食会を通じて、理事長には新任職員の意見やアイディアをくみ上げる場として、新任職員の皆さんには理事長から学園運営の理念や方針を直接うかがい知る機会として活用していただいています。1時間という限られた時間の中ですが、新任職員の皆さんが何かひとつでも仕事に活かせることや楽しい人生を送るヒントを掴んで職場に戻っていただけるような昼食会を目指し、これからも企画して参ります。

秘書室より

［特集1］

教員・職員・学生が世界一仲の良い学園へ

－理事長の想いを探る－

理事長に一問一答！

♣藍綬褒章受章おめでとうございます。受章を聞いて感じられたことをお聞かせください。

人生をかけてやってきたことが評価されることは、やはり嬉しいです。ただ、この受賞は私個人が受けたものではありません。一緒にやってきてくれた皆さんのおかげであり、私が代表してもらったのだと思っています。皆さんに心より感謝を申し上げます。

♣学園運営及び教育・研究活動を行う中で最も力を入れてきたこと、常に心にある想いなどを教えてください。

学園運営では、大きな3つの方針を持っています。1つ目は「えこひいきは絶対にしない」ことです。私の父も、誰かをいい人だ悪い人だとは決して人に言わなかった。つまり、自分の目で公平に判断しなさい、というわけです。人間誰しも、少しの「功」や「罪」はあるはずです。その中で常に公平な目で見て、判断することを大切にしています。

2つ目は「風通しを良くする」ことです。現場の声が必ず上層部や私に届くシステムにし、良い意見を確実にくみ取りたいと思っています。

3つ目は「現場で判断ができる組織」を作ることです。効率的な組織運営のためには必要なことであり、現在、そうできていると思っています。

教育の面では、大商大の学長になった時に、こう考えました。学長とは「学ぶ長」なのだから、自分自身が学ぶことをやめてしまったら終わりだと。常に学び続けようと誓いました。また、教育の基本で大切なことは、学生に付加価値を付けて教えることです。ですからいつも授業の準備は万全にし、授業時間いっぱい講義を行いました。その結果、私の授業は学生の評判もある程度良かったはずです。だからこそ、当時学長となった私を、先生方が受け入れてくださったのではないでしょうか。

研究の面では、「世の中に学問の対象にならないものはない」というモットーを持っています。常にアンテナを張り巡らし、興味のあるものは全て研究に取り入れていこうと考えています。

♣理事長としての一番の役割は何ですか。

学園にいる皆さんの進む道を一つに定めることが、私の大きな役割です。教職員が同じ方向を向くことができれば、物事は成功したといっていいそのために、建学の理念を4つの柱に具現化しましたし、皆さんには、日々の中で何か迷った時は、建学の理念に戻って考えてほしいと思います。また、この学園が皆さんにとって働きやすい環境であるように努めたいと思っています。

♣建学の理念に込められた想いを改めて教えてください。

基本となるのが「思いやりと礼節」です。まず人間として立派であることが最も重要です。例えば偏差値がいくら高くても、電車の中で席を譲れない人間は本学園には必要ないのです。人から見て人間として受け入れたいと思う人を育てたい。次に「基礎的な実学」を持ち、それを応用することのできる「柔軟な思考力」を持った人間です。最後にとても大切なことが「楽しい生き方」です。自分が幸せでなければ、他の人を幸せにすることは無理です。まず、自分で幸せになろうという強い意志と根性とやる気、そしてチャレンジし続ける強いスピリットを持つ人間を育てたいのです。

♣教職員に望むことは何ですか。

教職員の皆さん、そしてその家族の方々には全員幸せになってほしいと思っています。そして、幸せになるプロセスとして、やるかやらないか迷った時は、やる人間であってほしい。これは学生に伝えていることと同じです。私はチャレンジした結果の失敗は、プラスに評価することがあったとしても、絶対に悪く言いません。それを信じてチャレンジしてほしい。それが学生の見本にもなります。

教員と職員の差はありません。車の両輪のようなもので、どちらが欠けてもいけません。学生を教え育むという点、学生に良い影響を及ぼさないといけないという点で、教員と職員は全く同じ立場です。ただ、それぞれに何かお伝えするとしたら、教員の方には、学生に付加価値を付けられる教え方を追求してほしいということと、常に研究を続けていただきたいということ。職員の方には、もう少し職員聴講制度を活用してほしいですね。この制度は本学園独特の取組みですし、学ぶことが楽しいというレベルに自分を高めることで、学生にも同じように伝えることができるからです。

♣「教員・職員・学生が世界一仲の良い学園でありたい」と常におっしゃられていますが、そこに込められた想いを教えてください。

仲の良さとは、お互いを思いやることです。そして本当の仲の良さとは、「耳の痛いことも言える関係」です。学長を務める大商大は東大阪にありますが、元々大阪商人の精神を教える学校としてスタートしました。大阪商人というのは、まず人間関係から入ります。言いたいことをきっちりと伝え、長期的に見てお互いに発展する関係を築けるということが、本当に大切なことです。本学園の教員、職員、学生・生徒の間柄が、そのような関係であることを願っていますし、実際、他大学と比べてはるかに仲が良いと、私は胸をはって言えると思っています。

取材の依頼に理事長室へおうかがいした際に、「教職員に向けて、理事長のお考えや日々の想いをもっとお伝えする場があればいいですね」と話をすると「コラムでも書こうか」と理事長から提案が！今号からシリーズでお届けする予定です！

★理事長コラム

中国が南北朝に分かれていた五世紀頃、南宋に祖沖之（そちゅうし）という数学者・天文学者がおりました。北極星が天頂より少しズレていることを詳しく観測し、いわゆる歳差運動を暦に組み込んだ人で、ヨーロッパでこれが行なわれたのは1000年ものちのことでした。円周率の計算でも113分の355という近似値を使用しましたが、これも1000年以上追いつける人はいませんでした。

いきなりワケのわからん話をしましたが、まずはこれまで話さなかった私自身の話をしようと思ったわけです。告白しますと、私にとっての信仰対象は自然の摂理、特に数学なんです。むろん仏教も神道もキリスト教もその他の宗教も、人の生きる哲学として興味を持ち、尊重していますが、ひとつ選べと言われたら数学を選ぶでしょう。中学生くらいの頃に開眼した数学への畏怖は、私の哲学の大きな部分を占めています。

次の式はインドの天才、ラマヌジャンの公式です。
うーむ、とても美しい！

◎参考:C.A.Pickover『数学おもちゃ箱』

$$\frac{1}{\pi}=\frac{2\sqrt{2}}{9801}\sum_{K=0}^{\infty}\frac{(4K)!(1103+26390K)}{(K!)^4\,396^{4K}}$$

特集2 もっと知りたい!

大阪商業大学高等学校

文系も理系も、充実のカリキュラムで「自ら学ぶ姿勢」を育む。

平成25年4月から大阪商業大学高等学校のコースが大きく変わります。

プログレス国英・理数コース、進学デベロップコースを発展的に解消し、文理進学コースを新設。進学目標に合わせた段階的な学びや、自ら学ぶ姿勢を身に付けられるカリキュラムを設定。クラブ活動にも積極的に参加し、充実した高校生活を送りながら、確実にステップアップできる力を養う。

文理進学コースプロジェクトチーム チーフ **小守 良昌** 教諭へインタビュー!

◆学校を中心とした高校生活を

従来の進学系コースでは、生徒の多様な進学目標に対応しにくいという問題がありました。また、授業時間が7・8時間目まであったため、課外活動への参加が難しかった。このような問題もあり、コース制10年を迎える平成25年度から大きくコースを改編し、カリキュラム改定を行うこととなりました。新しいコースでは、生徒の進学目標に柔軟に対応できるカリキュラムを設定し、放課後の時間を課外活動や学習活動に有効に利用できるようにします。進学を目指すけれど、高校生活も充実させたいと思っている生徒の満足度を高めることがねらいです。高校は、学校生活の中で人間的成長を図る期間ですので、生徒には十分に学校を活用してもらいたいと考えています。

◆「自ら学習する姿勢」の大切さ

このコースで最も重視していることは、「自ら学習する姿勢」を育むことです。そのために「家庭学習」の定着を図ります。今の子供たちは、中学終了までに家庭学習をほとんどやってきていないので、一人で勉強する力がありません。ですから、最初は2時間程度で学習できる課題を各教科で調整し、毎日課す予定です。そして学習状況を点検し、一定のラインに達しない生徒には、放課後に指名者補習を行います。学力の底上げと基礎力の定着を徹底します。

◆新しい挑戦「速読」の授業

今回新たに取り入れる取組みがあります。それは「速読」です。「速読」を身につけることで、集中力や記憶力のほか、情報収集能力や文章を読み取る能力を高めることがねらいです。授業で取り入れている学校はまだないと思いますので、生徒にどのような効果があらわれるか楽しみです。

◆卒業してからの成長を願う

文理進学コースでは、3年生の最終に学力のピークを持っていきます。希望大学への挑戦には指定校推薦などを利用せず、あくまで一般入試での合格を目指します。一生勉強していくことの大切さに気づき、自ら学習する姿勢とその素養を手に入れることで、卒業後の次のステージにも、自信を持って臨めるような人間になってほしいと願っています。

◆他校から学んだ大切なキーワード

新コースの内容を決める際に、他校を幾つか視察に行きました。やり方はそれぞれ違いますが、どこも進学指導に力を入れている学校です。その学校の先生方に話を聞く中で、共通するキーワードが4つありました。1つ目は、コースまかせ担任まかせではなく、学校として明確な指針を持つこと。2つ目は、教員の本当の力（教える力、モチベーションを上げる力）の大切さを私たち教員がしっかりと考えて取り組むこと。3つ目は、家庭学習とその点検の大切さ。4つ目は、卒業させるまでしっかりと学習させるということでした。本校の新コースにもぜひ適用すべきだと感じ、実際に反映しています。

◆伸びしろのある学校

実は、本校の進学模試結果を見たある学校の先生から、「大商大高校さんは、もっと生徒の実力が伸びるはずですね。高校生の伸びしろは凄い。それを伸ばせるのは教員の力ですから、もったいないですよ」と言われました。正直、言われた時はショックでしたが、ある意味励まされました。生徒を一度預かった限りは、少しでも成長させて卒業させることが私たちの役割です。今まで取り組めていなかった分だけ、本校自体も伸びしろのある学校だと思います。一人でも多くの生徒の伸びしろを伸ばしていけば、面白い結果が出るはずです。

◆教員の情熱がアップ

新コース設置にむけ、私たち教員の意識にも変化が出てきました。教員の指導力の大切さに、改めて気づいたのです。そして、学外での授業研究会や研修会に積極的に参加し、指導力の向上に研鑽を積む先生方が多く出てきました。若手の先生もアイディアをたくさん出してくれます。先生方の情熱が上がってきていますので、このままの勢いで、新コースがうまく進むことを願っています。課題はたくさんありますが、大切なことは、子供たちの知的好奇心をくすぐり、成長を助けられるような指導を私たちが行うことです。生徒に楽な進路選択をさせないことを求めますので、私たちも、生徒以上にしんどい思いをして、全力でサポートしていきたいと考えています。

ポイントを PICK UP!

「自ら学習する姿勢」を育む

強制的にやらされるのではなく「自ら学習する姿勢」を求めるコース。日常の授業に真剣に取り組むことに加え、「家庭学習」をしっかりと行うことで、確実に学力向上へとつなげる。

家庭学習の定着

毎日2時間程度学習できるような課題を課し、家庭での自学自習の習慣を身につけさせる。

3ヶ年の指針となる姿勢を身につける「学習始動プログラム」

入学後の「宿泊オリエンテーション」で、高校生としての学び方や、自己目標の設定、家庭学習を定着させるための実践演習など、3年間の学びに必要な姿勢を養う。

放課後や長期休暇中を利用した学習

6時間目までの授業時間後、1年生では学校が定める学力ラインに達していない生徒を指名して補習する「指名者補習」で、学力の底上げを行う。2年生以降は、全員参加で文系・理系それぞれの特徴的な科目の応用力をアップさせる。

目標をしっかり見据えたカリキュラム

1年生 基礎力の充実と学習習慣の定着化

1年生では、文系・理系を分けず、国語・数学・英語の3教科を中心に基礎力の定着を図る。

2年生 基礎力から応用力への発展

文系・理系に分かれ、それぞれの特徴的な科目を学習。放課後を利用した学習で、応用力の向上を図る。

3年生 受験に向けて実践力を高める

私立大学一般入試や大学入試センター試験に対応したカリキュラムで、3年生後期に学力ピークが来るように指導。指定校推薦に頼らない、学力での進路決定を目指す。

コースの変更内容

現行	平成25年度から
グローバル商大コース（男女160名）	グローバル商大コース（男女160名）
プログレスコース（国英・理数）（男女40名）	文理進学コース（男女80名）
進学デベロップコース（男女40名）	
スポーツ専修コース（男子40名）	スポーツ専修コース（男子40名）
デザイン美術コース（男女40名）	デザイン美術コース（男女40名）

職場クローズアップ! ～大商大高校事務室紹介～

大商大高校事務室 **小西 憲二 事務長** へインタビュー!

大商大高校は、共学が定着し、キャンパスに女子生徒の笑い声が溢れ、今まで以上に明るい雰囲気になってきています。また、建学の理念と4本の柱である「思いやりと礼節」「基礎的実学」「柔軟な思考力」「楽しい生き方」を軸として、何事にも教職員が一丸となって取り組んでおり、活気のある学校です。

高校事務室では、学校運営に関わる業務全般を担当しています。内容は、授業料・学籍管理、図書室運営事務、施設・設備・物品等の管理、大阪府等からの各種調査・補助金対応、学校行事・生徒募集関係の補助など様々です。

現在力を入れている取組みは、まず、生徒募集の強化です。また、在籍している生徒たちの規範意識の向上を図ることや、生徒が学習に集中できるように、施設・設備などの環境整備の充実に取り組んでいます。平成25年度からは、文理進学コースが新設されますので、様々な準備のサポートをするほか、教員と職員が連携しやすいように、調整役として動けるように心がけています。

同じ課室で働くスタッフに一言!
「前進」如何なることがあっても、前向きに進んでほしい。

小西事務長ってどんな人?

課室員の声

- ◆明るい！ユーモアがある方
- ◆現場の判断力はすばらしい
- ◆温情を持たれた対応に安心感がある
- ◆人徳に厚いイメージ！

3つの質問に答えていただきました!

Q.1 好きな食べ物
何でも大好き 特に魚介類

Q.2 嫌いな食べ物
なし（何でも食べます!）

Q.3 好きな色
紅白 おめでたい色なので、楽しい気分になれる。

ここが知りたい!! ～大商大高校編～
大商大高校事務室のみなさんへ質問!!

前列左から：好住 修さん、小西憲二事務長、吉福 孝さん
後列左から：渡部和子さん、海野千代さん、内藤千鶴さん、髙橋直子さん、栗山泰典さん、音川圭美さん

大商大高校の良さをあげるならココ！

♥明るく元気
♥いい意味で自由で大らか
♥のびのび自由
♥生徒が挨拶をきっちりとして元気が良い
♥生徒がいい意味で人懐っこいところ！

大商大高校はあなたにとってどんな高校ですか？

♥生徒が全体的に素直で元気で明るいので、楽しく指導のしがいがあると感じる。その中で自分も元気をもらい仕事をさせてもらっています。
♥明るくて和やか。♥生徒に対する先生方の熱心さに驚くばかり！♥学校、教職員共に明るい雰囲気。
♥人と人のつながりを大事にし、人間力を強く感じる学校だと思います。

PICK UP!

2012年度における、各設置校の学生・生徒の皆さんの活躍をご紹介します！！

大商大【吹奏楽部】

モットー 純粋に音楽を楽しもう

創部5年目の大商大吹奏楽部。その活動は幅広い。定期演奏会、オープンキャンパスや卒業式などの大学行事での演奏、系列校である大阪女子短大の「ホタルのゆうべ」での演奏会に加え、最近では、東大阪こさかJAZZストリートへの参加など、地域を盛り上げる活動にも積極的だ。各種吹奏楽の団体が主催するコンクールへも参加し、上位入賞を目指す。「大商大でのクラブ活動は、もう生活の一部になっています。今はクラブがない生活が考えられません」と語ってくれた部長の今川さん。クラブ活動の中で一番嬉しかったことは、演奏後の「楽しかったよ！」「うまかったね」の一言だそう。創部以来、精力的に活動を続ける、大商大吹奏楽部の活動から目が離せない！

僕たちの演奏を聞いた全ての人に「楽しかった！」と言ってもらえるように頑張ります。

部長
今川 翔太郎さん
（経営学科 3年 パーカッション）

学園教職員へのメッセージ

呼んでいただければ、いつでも演奏に行きます。気軽に声をかけてください！

取材メモ

「吹奏楽部は文化系のクラブではない！」取材にあたり練習を見学に行くと、そこには熱くハードな練習風景が。まるであの人気マンガのような世界に、盛り上がり興奮する取材陣でした。

神戸芸工大

第38回城戸賞 受賞 受賞作品名「この醜く美しき世界」

脚本の世界の芥川賞！

夢は脚本家です。受賞を聞き、「頑張らないと！」と気合いが入りました。

麓 貴広さん
（メディア表現学科 映画専攻 4年）
※現・映像表現学科 映画コース

松竹・東映・東宝・角川映画など、映画界の名だたるプロデューサーが審査を行う脚本の新人賞で、脚本の世界の芥川賞と言われる「城戸賞」を受賞された麓さん。受賞を聞いた時は、思わず頬をつねるぐらい驚いたそう。「嬉しさより、夢の第一歩だと身が引き締まり、よし頑張ろう！という気持ちになりました」と、夢に向けての熱い想いをのぞかせる。また、「在籍する映像表現学科・映画コースでは、映画制作の基本から学び、実践的な映画づくりの中で様々な役割を担当します。あらゆる視点で学ぶことができ、その経験が、今回の脚本づくりに役にたちました」と語る麓さん。好きな監督や作品は、その時々で変わるけれど、目標は、三谷幸喜さんのような作品を作ること。将来、麓さんの脚本作品を映画館で見られることを期待しています！

作品に込められた想い

自分自身が経験した阪神淡路大震災、そして、東日本大震災。「世界が終わるのではないか」というような大震災が続く中だからこそ、確かめられる人間の美しさを描きたいと想い、この脚本を作成しました。

取材メモ

映画のあらすじを読み、思わず一言「映像で見たい！」。でも映像化されたら、泣いてしまいそう…。なんて想像が膨らむ。将来、映画のエンドロールで「脚本家　麓 貴広」の文字を見ることが楽しみです。夢に向かってガンバレ！

大阪女子短大【お菓子クラブ】

モットー 自主性

学生のお菓子作りの資質向上を目的とし創部されたお菓子クラブ。今年は「旬や流行を取り入れたおいしくてヘルシーなお菓子作り」を目標に、ごぼうのクッキーやほうれん草のムースなど、野菜をふんだんに使ったお菓子や、流行の塩麹を使ったアイスクリーム作りに挑戦。「大学祭でパウンドケーキ300食分を作り、完売できたことがとても嬉しかったです！」と笑顔で話してくれた、丹后さんと吉村さん。また、大学のある藤井寺市の特産物「道明寺粉」を使用し、市のマスコット「まなり君」と「どうみょん」をイメージした和菓子「マスカルポーネクリームの道明寺餅」と「道明寺粉のクッキー」を試作。昨年12月にNHK「あほやねんすきやねん」に出演しPR活動を展開するなど注目のクラブだ。今後の活動も楽しみです！

夢は、お菓子の商品化！
楽しく自由にお菓子作りをしています♪

丹后 美紗さん（生活科学科 1年）左
吉村 早紀子さん（生活科学科 1年）中央
顧問 **山中 珠美**先生 右

学園教職員へのメッセージ

教職員の方にも、ぜひ食べてもらう機会があると嬉しいです。

取材メモ

道明寺粉を使った和菓子を試食させていただきました。甘すぎない小豆とチーズの味わいが絶妙！商品化を期待しています！

平成24年度　各校課外活動等の活躍報告

2012年4月1日以降

●大商大

【合気道部】
第43回全日本学生合気道競技大会
乱取競技男子団体戦　3位
乱取競技男子個人戦　準優勝　岡本哲弥（商4年）
乱取競技女子個人戦　優勝　中嶋彩華（経営4年）
演武競技男子対徒手の部　優勝　岡本哲弥（商4年）
松村真生（商4年）

【ウエイトリフティング部】
第58回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
85kg級　3位　下原卓朗（公営3年）
第52回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会
団体　準優勝
62kg級　準優勝　洲崎秀成（経済4年）
105kg級　準優勝　久保健太（公営3年）
第58回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（II部）
団体　準優勝（1部昇格）
第60回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会
団体　優勝（52連覇）
56kg級　優勝　丹下雄介（商4年）
62kg級　優勝　洲崎秀成（経済4年）
85kg級　優勝　藤本健太（商3年）
94kg級　優勝　下原卓朗（公営3年）
105kg級　優勝　久保健太（公営3年）

【空手道部】
第50回西日本大学空手道選手権大会
男子団体組手　3位
第56回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対抗戦
男子個人組手　3位　溝口弘樹（商1年）
FISU第8回世界大学空手道選手権大会（スロバキア）
男子個人組手　-75kg級出場　黒川大和（公営3年）

【硬式野球部】
関西六大学野球春季新人戦　準優勝
関西六大学野球秋季リーグ戦　4位

【サッカー部】
第90回関西学生サッカーリーグ《通年成績》　2部Aブロック　3位

【柔道部】
第38回全日本サンボ選手権大会
兼2012年世界サンボ選手権大会代表選考会
82kg級　北條清矢（経済3年）
100kg級　金城義恒（経済3年）

【準硬式野球部】
阪神六大学準硬式野球春季リーグ戦　準優勝
阪神六大学準硬式野球秋季リーグ戦　3位

【日本拳法部】
第13回西日本学生拳法個人選手権大会
参段以上の部　準優勝　江口昌吾（経済2年）
弐段の部　準優勝　矢田秀人（商1年）
第57回全日本学生拳法選手権大会　男子団体　4位

●神戸芸工大

第50回兵庫工芸展
神戸新聞社賞　松田尚子（大学院 総合アート専攻2年）
奨励賞　山中舜之（造形表現学科4年）
第62回西宮市展　洋画部門
西宮市教育委員会賞（造形表現学科4年）
第47回伊丹市展　洋画部門
教育長賞　小倉早智恵（造形表現学科4年）
第22回ユザワヤ創作大賞
銀賞　石野平四郎（クラフト・美術学科2年）
第1回タケシール造形コンテスト2012
最優秀賞　石野平四郎（クラフト・美術学科2年）
神戸研究学園都市大学ゼミ対抗プレゼンテーション大会
「日本盛杯～日本酒関連の消費拡大策を企画せよ！～」
2位　プロダクトデザイン学科インテリア女子チーム
第38回城戸賞
入選　麓 貴広（メディア表現学科4年）

●大阪女子短大

【バレーボール部】
第59回全日本バレーボール大学女子選手権大会
決勝トーナメント出場
第47回全国私立短期大学体育大会
Bブロック　優勝　※次年度よりAブロック昇格
第58回近畿私立短期大学連合会・大阪私立短期大学協会女子総合体育大会　準優勝

●大商大高校

【軟式野球部】
第57回全国高校軟式野球選手権大会大阪大会　3位

【バレーボール部】
近畿高等学校バレーボール優勝大会　出場

もっと知りたい！ 特集3

各校の注目クラブ

大商大高校【ゴルフ部】

モットー 笑顔

学園教職員へのメッセージ

仲間同士で力を伸ばしていき、皆さんに感謝しつつ、クラブ活動で学校を盛り上げていきたいと思っています！ぜひ応援してください！

取材メモ

取材に行くと、そこには小さくて可愛いらしい女子高生が2人。この小さな体でベストスコア65、68…！未来のプロゴルファー誕生に、大きく期待が膨らみ、楽しい取材でした。

谷岡学園各設置校の数あるクラブの中でも、ひっきりなしに活躍のニュースが入ってくる、大商大高校ゴルフ部。ゴルフ人口の多い、学園教職員の皆さんにも、ぜひ、その活躍に注目してもらいたい。松田選手は海外遠征メンバーとしてマレーシア大会に出場。岡山選手にいたっては、関西高校ジュニア選手権競技で個人優勝し、数々の世界大会に出場するほか、KGU（関西ゴルフ連盟）指定強化選手第1期生メンバーに選出されるなど、圧倒的な強さをみせている。また、団体戦でも関西大会で女子が優勝し、大阪府高等学校総合体育大会では、初の男女団体アベック優勝を果たすなど、大注目のクラブだ。「次の目標は、全国での団体優勝！団体戦は個人とは違って、自分の一打が全員の一打となるので、すごく緊張しますが、一緒にプレーしている感じがして楽しいです」と、イキイキとした表情で夢を語ってくれた2人。大商ゴルフ部からプロゴルファーが誕生するのも夢ではない！

女子キャプテン
松田 なつきさん（2年 ベストスコア68）左
岡山絵里さん（1年 ベストスコア65）右

大商大堺高校【硬式野球部】

モットー 自主性・徹底・感謝

学園教職員へのメッセージ

みなさんの応援を力に変え、夏の甲子園に行けるよう頑張ります!ぜひ応援に来てください。

取材メモ

監督の「集合！」の合図30秒で生徒が集まり取材開始。スポーツ選手らしく無口な3人。「将来の夢は？」の問いに「プロ野球」と思いきや「俳優」との回答が（笑）。甲子園初出場と俳優の誕生を楽しみに、今後の活躍を願っています！

高校の課外活動としては、やはり注目度ナンバー1の野球部。大商大堺高校の野球部は、創部41年と伝統もあり、全国屈指の激戦区大阪で活躍する。昨年の秋季大会では大阪府予選にて第3位、近畿大会でベスト8の好成績を収めた。堺高校の目指す野球スタイルは「打つ野球」。練習前のミーティングで目標を設定し、妥協しないメリハリのある動きを心がけ、実践を意識した練習に日々取り組んでいる。部員たちにとってクラブ活動は生活の一部を超えて「Family」のような存在だという。「一番嬉しかったことは？」の問いに、「秋季大会で、野球部以外の生徒や先生方など、大勢の方に応援していただいたことです。すごく気持ちよくプレーをさせていただきました！」と語る3人。今年の夏は、いつも以上にアツイ夏になることを期待しています！

キャプテン
浅野 彰元さん（2年 セカンド）中央
中村 拓真さん（2年 キャッチャー）右
寺中 裕紀さん（2年 サード）左

大阪女子短大高校【サブカルチャー研究部】

モットー 好きなことを活動にする。自らが発信者の立場

学園教職員へのメッセージ

分かりにくいクラブ名ですが何でもチャレンジする元気なクラブです。他校の同系統のクラブと交流したいので、お声がけをお待ちしています。

取材メモ

生徒の情熱も凄いけれど、顧問の島先生の情熱も凄い！生徒と教員の情熱のコラボレーションに圧倒されながらも、和気あいあいと取材を終えました。

サブカルチャー研究部は、創部2年目のまだ新しいクラブ。「まんが」「アニメ」「コンピュータ（ゲーム、ボーカロイド）」などに興味や関心を持つ生徒が集まり活動している。その活動は、文化系クラブとは思えないほどに幅広い。文化祭では色紙100枚にイラストを描き、ベニヤ板6枚分（縦270cm×横360cm）の巨大貼り絵を展示したほか、ダンスも披露。クリスマスコンサートでは、ミュージカルを上演するなど、学校行事で大活躍！「練習に衣装合わせ、全てを自分たちでやり遂げたという充実感が味わえました。クラブはとても忙しいけど、将来役に立つ経験ばかりで、本当に楽しいです！」と目を輝かせる、清水さんと川人さん。「個人では絶対にできないことを、みんなで実現するという体験が大事。活動を通して築かれる団結力や絆は、体育系クラブに決して劣りません」と顧問の島先生は熱く語る。今後も多彩な方面で活躍し、短大高校を代表するクラブになることは間違いない！

部長
清水 千歳さん（2年）中央
副部長
川人 晴香さん（2年）左
顧問
島　和男先生 右

【バスケットボール部】
第59回近畿高等学校バスケットボール選手権大会　出場
【ゴルフ部】
大阪府高等学校私学総合体育大会
男子・女子団体の部　優勝　※大会初の男女団体アベック優勝
個人の部　男子　2位　武井北斗（3年）
女子　優勝　岡山絵里（1年）
関西高等学校ゴルフ対抗戦（団体戦）
女子の部　優勝
関西高等学校ジュニア選手権競技
女子の部　優勝　岡山絵里
大阪府高等学校ゴルフ新人戦
1年生の部　男子　3位　荒川祐樹（2年）
2年生の部　女子　優勝　松田なつき（2年）3位　福田凪紗（1年）
男子　優勝　西村　涼（1年）2位　中野暢之（1年）
【デザイン美術コース】
第24回全日本高校デザイン・イラスト展
団体賞　優良高等学校賞
個人賞　ADEC 理事長賞　奥田晃平（3年）
努力賞　有元　沙（3年）、清野萌奈（2年）

●大商大堺高校

【硬式野球部】
秋季近畿地区高等学校野球大会大阪府予選　3位
秋季近畿地区高等学校野球大会　ベスト8
【柔道部】
第61回全国高等学校柔道大会大阪府予選会
-66kg級　3位　櫻井一輝（3年）
-73kg級　3位　土屋智嗣（3年）
【ハンドボール部】
第66回大阪府高等学校総合体育大会兼第63回インターハイ大阪府予選中央大会　準優勝
第55回近畿高等学校ハンドボール選手権大会　出場
第64回国民体育大会兼第30回全国選抜予選大会　中央大会　3位
【空手道部】
大阪府高等学校春季大会兼第43回大阪府高等学校選手権大会
男子団体組手　3位
第67回大阪府高等学校総合体育大会　男子団体形　3位
第36回大阪府高等学校空手道新人大会　男子団体組手　3位
第32回近畿高等学校空手道大会兼第32回全国高等学校空手道選抜大会近畿地区予選
男子団体組手・形、男子個人組手　出場
【ウエイトリフティング部】
大阪総合体育大会兼全国・近畿大会予選会
56kg級　3位　寺元裕亮（2年）　近畿大会出場
62kg級　優勝　田中　悟（2年）　近畿大会・全国大会出場
69kg級　2位　春木貴児（2年）　近畿大会出場
85kg級　2位　井上祥樹（2年）　近畿大会出場
85kg級　3位　藤田将旭（2年）　近畿大会出場
全国高等学校総合体育大会
62kg級　田中　悟（2年）　出場
【日本拳法部】
第16回全国高等学校日本拳法選抜大会　男子・女子団体　3位
第57回全国高等学校日本拳法選手権大会　男子・女子団体　準優勝
個人競技　男子　3位　前田稔輝（1年）
女子　優勝　岡崎　慧（1年）
第18回全日本拳法高校女子個人選手権大会
優勝　岡崎　慧（1年）、3位　七里瑠美（3年）
第42回全日本拳法高校男子個人選手権大会
4位　玉置裕也（3年）
第11回大阪府高等学校秋季日本拳法新人大会兼第17回全国高等学校日本拳法選抜大会大阪府予選会
男子団体　準優勝
女子団体　準優勝　※男女とも全国大会へ出場決定
【女子テニス部】
全日本ジュニア選手権大阪府予選
ダブルス　準優勝　関西ジュニアテニス選手権出場
大阪府高等学校秋季テニス大会兼近畿高等学校テニス大会
大阪府予選
団体戦　3位　近畿3・4位大会出場

●大阪女子短大高校

【バレーボール部】
大阪高校総合体育大会兼第65回全日本高校選手権大会大阪地区予選　決勝ラウンド　3位
大阪私学高等学校選手権大会決勝トーナメント　準優勝
【書道部】
第33回大阪府高等学校芸術文化祭書道部門
特別賞　優秀賞　北川朋弥（1年）　※全国高等学校総合文化祭書道部門大阪府代表（全国大会出場）
【サブカルチャー研究部】
全国高等学校鉄道模型コンテスト　努力賞

教職員に注目!

Close UP!

教職員の活躍や、各校における表彰・受賞等のニュースをご紹介します。

表彰者一覧

祝

各校の教職員の皆さんが表彰されましたのでご紹介します。

平成24年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰
◆大阪女子短大
島 昭二副学長

平成24年度教育文化週間大阪府私学教育功労者表彰
◆大商大高校
中井 敏晴教諭
◆大商大堺高校
藤田 隆介教諭
◆大阪女子短大高校
前野 武志教諭

大阪府私立幼稚園連盟永年勤続表彰
◆大商大附属幼稚園
木村 弥生先生(20年)
春名 唯衣先生(5年)
髙橋 静代さん(20年) H24・3・31退職

おめでとうございます!

大商大 平成24年度校友顕彰者決定!

校友顕彰制度は、建学の理念に適う優れた社会的貢献を果たし、併せて大学の名誉を大いに高めた卒業生に対してその功績を称え表彰するものです。

校友顕彰者

榎 信晴氏

・昭和37年3月
商経学部商学科 卒業 10期生
・(元)奈良県 五條市長
・平成22年勲三等旭日中綬章 受章

特別表彰者

眞鍋 政義氏

・昭和61年3月
商経学部商学科 卒業 34期生
・平成24年 ロンドンオリンピック女子バレーボール監督 銅メダル獲得

11月20日(火)に行われた「校友顕彰式典」では、榎氏による記念講演が行われ、「母校から、自身のこれまでの活動を表彰してもらえることが、何よりも嬉しい」と話されました。また、講演に参加した学生へ、力強い励ましのメッセージを贈ってくださいました。

大商大 文部科学省学生支援及び就職支援プログラムで最高評価の【S】評価取得

平成21年度に文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム及び就職支援推進プログラムに採択された、キャリア支援に関する取組みにおいて、【S】評価を取得しました!

総合評定【S】:目標に沿った取組みが実施されており当該目標を十分に達成している。※4段階評価【S A B C】

取組み

『個別面談体制と社会人力向上策の展開による就職率の維持・向上』

評定理由

就職希望者全員に個別面談を実施、徹底した少人数教育を柱とする社会人能力の養成、きめ細かな個別指導を実施し、高い就職率の維持を図っているのが特色で、優れた取組みとなっている。ポータルサイト、メール配信による学生への周知に加え、電話サポート員による一人ひとりへの連絡が行われ、個別面談により個々の学生の情報の記録が組織的になされている。

芸工大 ワールド・モニュメント財団/ノール モダニズム賞を受賞!!

環境・建築デザイン学科 花田佳明教授

ニューヨーク近代美術館での授賞式で講演する花田教授

日土小学校(撮影:北村徹)

愛媛県八幡浜市立日土小学校の保存再生活動に携わった、芸工大の花田佳明教授他(専門家6名と1市)から成るコンソーシアムが、「2012年ワールド・モニュメント財団/ノール モダニズム賞」を受賞されました。

花田教授は、同活動で、国内で最も権威のある建築の賞「2012年日本建築学会賞(業績)」も受賞されています!

【ワールド・モニュメント財団/ノール モダニズム賞とは】
次世代へ継承すべき価値を有しながら保護・保存が危ぶまれるモダニズム建築の修復・保存・再生に貢献した建築家らに贈られる賞。今回は、17カ国44件の申請があり、欧州以外で初めて、しかも戦後建築としても初めての受賞となります。

【日本建築学会賞とは】
社団法人日本建築学会が設けている国内で最も権威のある建築の賞。日本国内における建築・建設分野で功績をあげた個人・団体を称え授与されます。

詳細は、環境・建築デザイン学科サイトのレポートをご覧ください!⇒http://www.kobe-du.ac.jp/env/2012/002624.php

新コーナー誕生!

第1回 気になる!コノ人どんな人?

「楽人」制作担当者が、学園内の気になる人を勝手にPICK UP!し、紹介するコーナーです。
仕事で頑張っている人や、不思議な特技を持っている人などなど…、教職員の皆さんからのPICK UP!リクエストもお受けします。

気になる! コノ人どんな人?

第1回は、仕事の傍ら、東日本大震災の早期復興への願いを込めた日本縦断ランニングを達成し、その後もさまざまな想いを込めて走り続ける、霄 豊一さんです。霄さんがランニングを続ける理由、そこから得たかけがえのない出会いなど、ターニングポイントに迫ります。

「走ることで人との出会いの大切さを自ら体験し伝えていく。日本縦断サラリーマンランナー」

大阪商業大学 社会連携・研究支援課

霄 豊一さん

ランニングキャリア7年
自己ベストタイム
フルマラソン2時間58分12秒
ハーフマラソン1時間23分51秒

胸には「大阪商業大学」の名前と「東北魂」のステッカー、腰には、坂本さんからもらった「勝守」と喪章をつけ大阪マラソンで走る霄さん。

感動がひとを動かし、出会いがひとをかえる

Q1.座右の銘を教えてください。

今、人との出会いの素敵さを改めて感じています。日本縦断を続ける中で、たくさんの人に助けられました。人と出会い、感動を分かち合い、刺激を受けることで、前に進もうという、次への原動力が生まれる。大商大のメッセージ「Brand new you 出会いがあなたを楽しくする」を、私自身が身をもって感じています。自分が走り続けられるのは、たくさんの人のサポートがあってこそ。その方々に心から感謝しています。

気持ちも身体も変わる

Q2.ランニングをして変わったことは?

時間の使い方が大きく変わりました。就業後にトレーニングをするので、仕事を効率的に進められるように意識しています。ランニングを始めて半年が経過した頃には、脚や腹部など、顕著に効果が現れ、ランナーらしい身体つきになりました。最近では、体重の調整や疲労度の管理ができるようになりました。

RUN×10(ランバイテン)運動

Q3.被災地復興への想いと恩師への想いとは?

走った距離に10円をかけた金額を、震災復興に役立てる運動「RUN×10運動」に参画しています。東北縦断時に出会った方の「希望など何もない。故郷には戻れない」という悲しい言葉に、大きなショックを受けました。まだまだ進んでいない被災地の現状を目の当たりにし、「走る姿を通して日本を元気づけたい」という想いです。また、ランニングを始めるきっかけを与えてくれた、元警備員で私の恩師である坂本さん。昨年10月半ばにがんで亡くなられたのですが、大阪マラソンでは、坂本さんと一緒に感動を分かち合え、ゴールできた気がします。きっと、喜んでくれていることでしょう。

次の夢は、世界へ「ありがとう」

Q4.次の夢は何ですか?

東日本大震災時に、海外から受けた支援に対する恩返しとして、海外での縦断走破を計画しています。世界各国からの支援に感謝の気持ちを伝え、日本の元気な姿を見せるために、世界で走りたい。そして、職場では、私が身をもって感じた「人との出会いの大切さ」を学生たちにも伝えたい。本気で感じていることだから、伝えられる。学生が将来楽しい生き方ができ、いつもチャレンジする気持ちを持ってくれるように、私自身も、そうである姿を見せられる大人でありたいと思っています。

日本縦断最後の地、東北。たくさんの人に助けられる。

「がんばろう!ふくしま!がんばろう!東北!」日本縦断ランニングで出会った人たちに、復興メッセージを寄せ書きしてもらった、のぼりと一緒に。

東京から仙台まで、募金活動を行いながらみこしを担ぐ学生にも出会い、健闘を祈り合う。(福島県にて)

大阪マラソンゴール手前、朝日新聞社の記者の方から受け取った「がんばろう!ふくしま!」と書かれたのぼりをはためかせ走りきる霄さん。

日本縦断に至るランニングの軌跡

◆2005年 11月
朝、始業時刻に遅刻しそうになり、駅から大商大までノンストップでダッシュ。当時警備員として働いていた坂本正雄さんから「いい走りですね。ランニングをされたらどうですか」と声をかけられる。

◆2006年1月
以前より奥さんから「何かスポーツを始めたら?」と言われていたこと、そこに坂本さんの言葉が重なり、ランニングを始める。就業後、時間を見つけて、坂本さんが作ってくれたトレーニングメニューをこなしていく。時には、陸上部や消防士を目指す学生、近所の中学生と一緒に走ることも。2km⇒10km⇒ハーフマラソンと、走行距離を伸ばしていく。目標タイムを設定して達成し、さらに新しい目標に挑戦するという楽しみを見い出す。

◆2007年2月18日
泉州国際市民マラソンで、初フルマラソンに挑戦!タイムは3時間30分02秒。この時、サブスリー(フルマラソンを3時間切って走ること)を達成することが目標となる。

◆2009年5月25日
貝塚市姉妹都市提携カルバシティーとのスポーツ交流でマラソン出場招待を受け、第24回ロサンゼルスマラソンに出場。

◆2010年5月3・4日
ランニングのトレーニングの一環として、ジャーニーラン開始。琵琶湖1周190kmを2日間で走破。日本縦断を意識し始める。(※ジャーニーランとは、走りながら旅をすること)
琵琶湖⇒淡路島⇒東海道⇒山陽道⇒九州⇒北海道⇒沖縄…そして、2012年夏、東日本大震災の早期復興を願い、東北縦断を決行!この冬に四国横断も行い、日本縦断走破を達成!
総距離、なんと3,880km!トータル日数63日間

◆日本縦断の記録

・2010年5月3・4日　琵琶湖1周190km
・2010年6月19・20日　淡路島1周150km
・2010年8月10～19日　東海道(東京日本橋～大阪府貝塚市自宅)590km
・2010年12月24～26日
・2012年4月30～5月2日　山陽道(福岡～大阪日本橋)550km
・2012年7月14・15日
・2011年4月29日～5月4日　九州(鹿児島～福岡)400km
・2011年8月8～20日　北海道・青森(宗谷岬～青森)770km
・2011年12月25～30日
沖縄本島(辺戸岬～荒岬)・波照間島
鹿児島(佐多岬～鹿児島)270km
・2012年8月12～22日 東北(青森～東京日本橋)800km
・2012年12月23～31日 四国横断500km
☆1日平均走行距離61～62km

◆2012年11月25日
第2回大阪マラソンでは、「被災地支援」と「がん撲滅」のチャリティーに参加。「出会った全ての人への恩返しの気持ちを込めて走った、感謝のランです」と語った霄さん。日本縦断で出会い、お世話になった人たちの顔を思い浮かべながら。そして、走る喜びを教えてくれた、坂本さんへの感謝を込めて・・・。

「感謝のラン」は、さまざまな新聞で取り上げられています。

【掲載された新聞】
●9/15・11/26 朝日新聞
●9/15・11/8 読売新聞
●9/15・1/8 毎日新聞
●9/15 神戸新聞
●8/13・23 東奥日報(青森県)
●8/12・30 丹波新聞(兵庫県)
●8/16 岩手日報(岩手県)
●7/28・9/22 ニュースせんなん

【ランニングマガジン】
●crourir クリール2月号

【TV放送】
●9/17～23 J:COM
「Hometownウィークリー」他多数

谷岡学園広報誌
楽人 GAKUJIN
2013 01 January
Vol.49

法人本部総務課・学園広報係からのお知らせ

～教職員の皆さんの コミュニケーションツールでありたい～

●「楽人」について

「楽人」は、学園各設置校に所属する教職員の皆さん向けの広報誌です。学園の現在や将来の方向性、また、その時々の目標や課題についての情報を共有できるコミュニケーションツールとして、皆さんにとって有意義な情報を発信できる冊子を目指します。また、仕事や学園に対しての高い「当事者意識」を培う場として、設置校や教職員の枠を超えて、「楽人」の名のとおり、「楽しい生き方」を実践されている学園内の様々な方に登場いただきます。また、この広報誌は、OBOG教職員の方にもお送りしています。時間を見つけてじっくり、帰宅時の電車の中や、持ち帰ってご家族の方にも読んでいただけたら幸いです。

●教職員向け WEBサイトについて

谷岡学園公式WEBサイト（http://www.tanigaku.ac.jp/）に、教職員専用のページを設定しています。福利厚生などの人事的な情報をメインとして、谷岡学園からの各種案内の閲覧ができるとともに、学園共通の各種定形文書のダウンロードが可能です。また、「楽人」WEB版もページ内で発信しています。谷岡学園公式WEBサイトのトップページから「**教職員の方へ**」のボタンをクリックし、所定のID・パスワードを入力してご覧ください。

◉WEB版「楽人」発行内容

Vol1. 新入職員紹介
Vol2. もっと知りたい！職場クローズアップ！大商大新課室紹介
[●事務局長室 ●社会連携・研究支援課 ●学修支援課]

●教職員の皆さんのご意見・ご感想をお待ちしています

「楽人」に関するご意見・ご感想／教職員向けWEBサイトについての問合せ先

学校法人谷岡学園　法人本部総務課　学園広報係
〒577-8505　東大阪市御厨栄町4-1-10
電話 06-6781-0384
E-mail tanigaku@oucow.daishodai.ac.jp

編集室コラム

昨年4月に異動となり、環境の違い、業務の違いでとまどい足掻き苦しんで早いもので10ヶ月が過ぎました。慣れない業務での対人関係、チンプンカンプンな専門用語等に苦労し、未だに苦しい毎日を過ごしています。ただ、新しい発見もありました。自分の人見知りな性格は分かっていましたが、こんなにも人見知りが激しく、閉鎖的な性格だとは思いもしませんでした。環境の変化で気づかされた自分の性格。分からないまま日々過ごしていたんだなぁと思い、ある意味この発見に感謝感謝です。今年は心機一転!新しい出会いやチンプンカンプンな専門用語と戦っていくことを決意し、新しい自分を見つけるために「今年こそは、ガンバレ自分!」と声をかけながら、ぼちぼちマイペースでがんばって生きたい（いきたい）と思います。

また今年は、娘が小学校へ入学「ぴかぴかの１年生」、息子が幼稚園に入学「たのしい幼稚園」、まだまだ生まれたばかりと思っていた二人が、あっという間に大きくなってしまいました。子供たちも新しい環境で、とまどい、悩み、成長していくだろうなと思いながら、自分自身も新しい環境で成長しなければと改めて思いながら、一緒にがんばっていきたいと思います。いつ父離れをするのか不安でいっぱいです。（ト）

■本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名：学校法人谷岡学園　理事長　谷岡一郎
個人情報の取扱いについての問い合せ窓口
学校法人谷岡学園　法人本部　総務課　個人情報取扱係
電話：06-6781-0384

学校法人 谷岡学園
TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

学校法人 谷岡学園	TEL:06-6781-0385
大阪商業大学	http://ouc.daishodai.ac.jp/
神戸芸術工科大学	http://www.kobe-du.ac.jp/
大阪女子短期大学	http://www.owjc.jp/
大阪商業大学高等学校	http://www.daishodai-h.ed.jp/
大阪商業大学堺高等学校	http://www.shodaisakai.ac.jp/
大阪女子短期大学高等学校	http://www.osakajyosi-h.ed.jp/
大阪商業大学附属幼稚園	http://www.shodai-kids.ed.jp/

学校法人 至学館	TEL:0562-46-1291
至学館大学	http://www.sgk.ac.jp/
至学館大学短期大学部	http://www.sgk.ac.jp/
至学館高等学校	http://www.shigakukan-h.ed.jp/
至学館大学附属幼稚園	TEL:0562-46-1294

■楽人Vol.49
発行日／2013年1月31日
編集・発行／谷岡学園　法人本部　総務課
編集長／谷岡　一郎
TEL:06-6781-0384　FAX:06-6787-3002
http://www.tanigaku.ac.jp/